

『水都おおさか森林の市 2019』に出展しました

国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林整備センター近畿北陸整備局

近畿北陸整備局(京都府京都市)は、令和元年10月27日(日)に林野庁近畿中国森林管理局・毛馬桜之宮公園(大阪府大阪市)において開催された「水都おおさか森林の市 2019」(主催:水都おおさか森林づくり・木づかい実行委員会)に出展しました。



今年で33回目を迎えた本イベントは、『未来につながる元気な森林(もり)を』をテーマに開催され、大阪府内外の林業関係団体や企業などがブースを出展しました。

今年も関西支所・関西育種場と合同で出展し、近畿北陸整備局は水源林造成事業のパネル展示や、まつぼっくりやドングリを使った工作体験、木偏の漢字当てクイズを実施して水源林造成事業のPRを行いました。

当日は天候に恵まれ、イベント全体の来場者数は約2万5千人(主催者発表)と大変賑わい、近畿北陸整備局のブースにも多くの方々にお越しいただきました。

工作体験のコーナーには親子で参加された方が多く、イベント開始から終了まで満席の状態が続き、大盛況でした。

木偏の漢字当てクイズでは、老若男女問わず多数の方が挑戦されていました。木偏の難読漢字に頭を悩ませる方や、次々と解答される方など、様々な反応がありました。なかには、全問正解する方もいらっしゃいました。

近畿北陸整備局は今後もイベントへの参加を通じて、地域の方々に水源林造成事業への理解を深めていただけるよう努めてまいります。



工作体験の様子



漢字クイズの様子